

全館入場者数	開館日数
119,309人	309日

ア 美術館の管理運営

1 管理

(1)施設管理[ハード]

種別	内容	件数
ホームギャラリー	開架書籍の整理・問い合わせへの対応(レファレンス)	-
子育てひろば	子育てひろばの運営協力	-
花壇(正面玄関外)	苗の植え替え、明後日朝顔プロジェクト等	通年
施設貸出(予約・設備準備・支払等) ※収益事業再掲	アートロフト	164件
	会議研修室	241件
施設・設備の管理、点検、修繕等(セキュリティ、音響、照明等設備管理、清掃等)	設備修繕	17件

(2)施設管理[ソフト]

種別	内容	件数
来館者サービス	・来館者対応・警備、電話・メール等への問い合わせ対応 ・朝礼(毎日)職員ミーティング(週1)館内職員(月1)等による情報共有 ・入場者・入場料管理	-
ニーズ調査	アンケート実施・集計・回答等	342件
新型コロナウイルス感染拡大防止対策	・5類相当に移行後も定期的に館内を消毒	-

(3)施設管理[美術館IPM]

種別	内容	件数
ミュージアムIPM	・展示室、収蔵庫、一時保管庫、付室へのトラップ設置モニタリング ・収蔵庫、一時保管庫、付室、搬入口、ホームギャラリー本棚のクリーニング(掃除機、ドライワイパー使用) ・収蔵庫、一時保管庫、美術館入口、展示室入口のアナログ温湿度調査器による計測 ・展示室(GⅠ、GⅡ)の展示期間中のデジタルロガー計測 ・館内の飲食についてのマニュアル作成	通年
専門業者によるIPMクリーニング	専門業者(タクト)による一時保管庫のIPMクリーニングおよび検査	9月10-13日

2 運営

(1)外部審議会

種別	内容	開催日
外部審議会	熊本市現代美術館入場者数と「まち」との繋がりについて	9月6日

(2)職員研修

種別	主催	内容	開催日	受講者
新入社員研修	一般社団法人熊本市勤労者福祉センター	社会人として基本的な知識と心構え、報告・連絡・相談、ビジネスマナー(電話応対、来客応対)等を学ぶ研修。	4月4日	中村美友 (会計班)
オンラインセミナー 公益法人・一般法人会計「基礎編」	公益財団法人公益法人協会	公益法人会計基準の内容や勘定科目、会計処理に対する知識の基礎固めを行う、zoomを利用するリアルタイムのオンラインセミナー。	8月7日 8日	
劇場に関わる人のための アーツマーケティング・ゼミ2023「評価の先にあるもの」	ala可児市文化創造センター	alaが行ってきた地域貢献・社会的包摂に関する実践的アプローチを題材に、「社会機関としての劇場の役割」を考えていく合宿形式のプログラム。	9月7-8日 2月7-8日	坂本顕子 (学芸員)
有識者研修会	文化庁(日本博物館協会)	令和5年度「新登録制度推進のための実施体制支援及びプロモーション活動事業」博物館登録審査の観点と有識者に期待される役割について	10月2日	岩崎千夏 (副館長)
公益法人会計セミナー	税理士法人近代経営	公益法人における財務諸表・認定基準についての研修会	10月17日	岡田直幸 中村美友 (会計班)
やさしい日本語	九州産業大学美術館 熊本市現代美術館	博物館を活用した「健康寿命」増進プログラム開発の企画立案・実施運営の方法を学ぶ研修会。	10月20日	坂本顕子 岩崎美千子 里村真理 (学芸員)

(2)職員研修(つづき)

種別	主催	内容	開催日	受講者
熊本市外郭団体合同研修会	熊本国際観光コンベンション協会	人権啓発	11月16日 11月30日 12月8日	藤本眞一(事務局長) 野中力(事務局次長) 松本芳典・中川裕美・ 平井由起(管理班) 中村美友(会計班)
公益法人協会シンポジウム2023『新たな公益法人制度を目指して』	公益財団法人公益法人協会	「新しい時代の公益法人制度の在り方に関する有識者会議」の最終報告を踏まえた討論会	12月26日	岡田直幸 (会計班)
熊本市外郭団体合同研修会	一般財団法人 熊本市文化スポーツ財団	接遇研修	2月27日・28日	杉谷和泉・松本芳典 中川裕美・平井由起 (管理班)
「公益法人の決算実務」動画セミナー	満喜株式会社 九州支店	公益法人の決算実務(決算整理、決算書類の作成等)について学ぶ動画セミナー。	3月6日	中村美友 (会計班)
新人監視員研修	美術館職員による研修	接遇研修・災害時の対応	3月6日	H6年度 登録監視員
第38回学芸員研修	一般社団法人全国美術館会議	テーマ:利用者を中心に考える美術館のく展示・学び・アクセシビリティ 第2分科会「美術館における学びとは何か?」に参加。	3月7日-8日	岩崎美千子 (学芸員)

イ サービス・交流

1 広報

種別	内容
美術館やイベントの総合的な情報発信	パンフレット、年間リーフレット、月だよりの作成・配付
展覧会の情報発信	展覧会チラシ、ポスターの作成・配布
ホームページ維持管理	維持管理・変更・更新等(レンタルサーバ含む) 熊本市現代美術館 https://www.camk.jp
SNSによる情報発信	美術館の出来事をリアルタイム・広範囲に発信・拡散 ・X(旧Twitter):@camk_kumamoto ・Facebook:熊本市現代美術館 ・Instagram:camk_kumamoto ・Youtube:熊本市現代美術館
メディアを利用した情報提供	報道資料、リリースの作成・配付
紙メディアを利用した情報提供	新聞、雑誌等への取材依頼、記事提供等
ラジオ・テレビ取材等	ラジオ、テレビへの取材依頼、情報提供、出演等 エフエム791(週1回レギュラー)
市政だより、市facebook等	記事提供

2 ボランティア

(1) ボランティア活動

種別	内容	人数
図書チェック	ホームギャラリーやキッズサロンの本のチェック、整理	36人
布絵本修理	キッズサロンの布絵本の修理、手遊びグッズの作成等	21人
発送作業	ポスター、チラシ等の発送作業	28人
ピアノ演奏	ミニピアノコンサートの演奏	57人
読みがたり	絵本や紙芝居などの読みがたり	20人
合計		162人

(2) ボランティア研修等

種別	内容	人数
新規ボランティア研修①	第22期ボランティア希望者への研修	8人
新規ボランティア研修②	第22期ボランティア希望者への研修	9人
新規ボランティア研修(個別)	第22期ボランティア希望者への研修	4人
合計		21人

3 多様なジャンルのイベント

(1)映画・映像イベント

種別	内容		開催日	人数
定期映画上映会	月曜ロードショー	毎週月曜の14時-、17時-の2回 上映権付の映画上映	48回/年	2592人
合計				2,592人

(2)音楽・朗読イベント

種別	内容		開催日	人数
音楽イベント	ホームギャラリー ミニコンサート	当館のピアノボランティアによるピアノ演奏。 ホームギャラリーで毎日19:00-19:30に実施	187回/年	187人
合計				187人

(3)子ども向けのイベント

種別	内容		開催日	人数
読みがたり	当館ボランティアによる絵本の読みがたり、紙しばい、手遊び歌など (140-151回)		4月15日、5月20日、 6月17日、7月15日、 8月19日、9月9日、 10月28日、 11月18日、 12月16日、 1月20日、2月17日、 3月24日	118人
子育てひろば ワークショップ	おはなし会とふれあい遊び	絵本や手遊び歌を通して親子間のコミュニケーションを深める	4月20日	21人
	ベビーマッサージ	ベビーマッサージをしながら親子のスキンシップを楽しむ	5月18日	20人
	親子で陶芸手形足形づくり	手形・足型の陶芸体験型ワークショップ	6月16日	25人
	親子で陶芸手形足形づくり	手形・足型の陶芸体験型ワークショップ	6月23日	22人
	親子で楽しむリトミック	音楽や楽器、ふれあい遊びを通して、親子のコミュニケーションを深める	7月20日	21人
	親子で陶芸手形足形づくり	手形・足型の陶芸体験型ワークショップ	8月18日	28人
	親子で陶芸手形足形づくり	手形・足型の陶芸体験型ワークショップ	8月25日	26人
	絵の具で描くトートバックづくり	自由に描くアート体験を通して、興味や創造を色や形にする。	9月21日	20人
	ベビーマッサージ	ベビーマッサージをしながら親子のスキンシップを楽しむ	10月19日	19人
	ふれあいあそび	親子でのふれあいを大切にしたい音楽遊び	10月27日	19人
	絵の具で描くトートバックづくり	自由に描くアート体験を通して、興味や創造を色や形にする。	11月16日	21人
	手作りアルバム作り	親子で協力して工作を楽しむ	12月14日	20人
	親子ふれあいヨガ	親子でヨガをしてリフレッシュするワークショップ	1月18日	17人
	英語であそぼう	親子で英会話を楽しむワークショップ	2月29日	20人
	親子ふれあい音楽あそび	親子でのふれあいを大切にしたい音楽遊び	3月2日	14人
	こどもたちの青い鳥	子育てひろば開所10周年を記念し、コーダ・ヨーコ氏の「青い鳥」に子どもたちが模様づけをするワークショップ	9月21日 -11月16日	108人
合計				539人

(4)アートラボマーケットでのイベント

タイトル	講師	内容	開催日	人数
日曜スタンプワーク ショップ	小山田将監(アーティスト)	自分だけのオリジナルのスタンプを作るワーク ショップ	4月2日・9日 23日・5月7日	5人
[MW]小島拓朗	小島拓朗(アーティスト)	小島拓朗の平面展示販売	4月8日-4月23日	—
坂口恭平日記 [イベント]坂口恭平 誕生日	yuka takayama 珈琲自家焙煎豆売り店 つく も珈琲	「坂口恭平日記」の関連イベントとして、坂口恭平 の誕生日にチーズケーキと珈琲がセットになった 「ケーキセット」を提供	4月13日	—
[MW]コーダ・ヨーコ	コーダ・ヨーコ(イラストレー ター)	アーティスト／イラストレーターのコーダヨーコの 作品展示販売	4月28日-6月26日	—
斗真の折り紙教室	池田斗真(中学生)	折り紙名人の斗真さんによる折り紙教室	5月4日-5日	19人
ミニ絵本をつくろう ワークショップ～どうぶ つ編～	コーダ・ヨーコ(イラストレー ター)	アーティスト／イラストレーターのコーダヨーコに よるミニ絵本づくりのワークショップ	5月14日、6月11日	15人
真珠子タロットカードぬ りえ	真珠子(アーティスト)	真珠子オリジナルの歌舞伎タロットカードのポスト カードぬり絵22種類によるワークショップ	5月20日-6月25日	16人
顔タイプ診断®ワーク ショップ	前川やすこ・小谷樹香・原口ち はる	顔の輪郭、パーツの特徴やバランスなどから8タ イプに分類し、似合う服のテイスト、柄、髪型、眉 の形などを導き出して今ある魅力をさらにUPす るワークショップ。	6月25日	15人
[MW]興梠優護	興梠優護(アーティスト)	ショップ壁での作品展示販売	7月7日-30日	—
油彩画で抽象画を描こ う	興梠優護(アーティスト)	頭のなかを空っぽにして、楽しみながら絵の持つ 様々な側面と魅力を体験してみるワークショップ	7月16日・30日	10人
話題のChatGPT を 使って、俳句を作ってみ る。	熊本市現代美術館	自然言語処理技術が活用された対話型人工知能 OpenAIを体験してみるワークショップ。	7月26日-9月24日	—
熊本工業高校×ALM バンダナ投票	熊本工業高校繊維工業科	繊維工業科の生徒がデザインしたバンダナの人 気投票を行い実際に商品化して販売。	7月27日-8月31日	228人
[MW]小山田将監	小山田将監(アーティスト)	スタンプアート作品の展示販売	8月4日-9月24日	—
スタンプで物語をつく ろう	小山田将監(アーティスト)	スタンプを使ってお話をつくるワークショップ	8月23日、9月24日	—
小山田将監アーティスト トーク	小山田将監(アーティスト)	スタンプアート作品の展示アーティストの小山田 将監によるトーク	9月3日	5人
昔話を絵にしてみよう	山本太郎(ニッポン画家)	絵本「つなぎまちと130人のこどもたち」を読んで 絵を描くワークショップ	9月10日	24人
新しい昔話のつくり方	山本太郎(ニッポン画家)、濱 門慶太郎(虚屯出版)	津奈木町のおいしいものを食べながら、「たろう とニッポン画わたし話」プロジェクトを振り返る トーク	9月10日	20人
スタンプ音楽隊	小山田将監、 HIKOKONAMI	スタンプを使って絵を描きそれを楽譜にして音 楽を演奏してみるワークショップ	9月18日	16人
[MW]横山博之 光をも とめて	横山博之(アーティスト)	コロナ後の日常風景を描いた作品の展示販売	10月4日-11月5日	—
上通まちゼミ 明後日朝 顔プロジェクト熊本 種 の収穫	熊本市現代美術館	明後日朝顔の歴史を振り返り、種の収穫をする ワークショップ	10月9日	9人
もしやもしや展示	日比野克彦(館長)	東京藝大DOORプロジェクトを受講する市役所 職員によるワークショップの成果展示	11月6日-16日	20人
[MW]森英頭 アートレ イバーアライブ	森英頭(彫刻家)	木彫作品の展示販売	11月10日-1月15日	—
森英頭トーク	森英頭(彫刻家)	森英頭によるトーク	11月18日	8人
絵具になるかな!? 顔料 づくり体験	熊本市現代美術館	G3「烏山秀直展 絵画になる時間」に関連した、 身近なものから顔料を作る実験ワークショップ	11月23日、12月9日	15人

(4)アートラボマーケットでのイベント(つづき)

タイトル	講師	内容	開催日	人数
itiiti クリスマスツリー 公開制作&ワークショップ	itiiti (アーティスト)	OMO5熊本by星野リゾートに展示する3m級の いぐさクリスマスツリーの公開制作	11月29日、30日	20人
2024 アド たつカレン ダーぬり絵	アド(イラストレーター)	来年の干支「たつ」のカレンダーに色を塗ったり、 何か描いたり、自由な発想で仕上げる	12月1日-12月28日	11人
「空中に線を描く」 3Dアートペンワーク ショップ	森英頭(彫刻家)	ペン先から出てくる樹脂を瞬時に固めることで、 立体的な作品を描き出す3Dアートペンを使った ワークショップ	12月2日、1月28日	8人
シルクスクリーンでオリ ジナルアイテムをプリン トしよう	興梠優護(アーティスト)	興梠優護が描いた作品を、シルクスクリーンでプ リントしてみるワークショップ	10月1日、12月3日	7人
[ALM展示]造形作家 10年やりとげました よ。これからもよろしく お願いします。展	ZUBE 藤本高廣(アーティ スト)	藤本高廣さんが、造形作家として独立して10年 を迎えました。鉄の廃材を組み合わせて生み出さ れる、ユーモアと夢あふれる作品	12月28日-1月28日	—
熊本城のペーパークラ フト作り	熊本市現代美術館	熊本城のペーパークラフトを楽しむワークショッ プ	1月4日-1月28日	150人
どこでも杉パーク BURDOワークショップ	Dr.杉太郎(南小国町地域お こし協力隊)	小国杉を用いた発明品で遊ぶワークショップ	1月20日	100人
[MW]ピックアップ・ アーティスト	東耕平、安森大樹、キノシタ ユースケ、光武美沙希、福田 真子、山口紗瑛、夜とマトリカ リア、itiiti、森澤嘉幸、野田竜 太郎、森英頭	森英頭らによるグループ展示販売	1月17日-2月9日	—
アールヌーヴォーの切り 絵/ミュシャのぬりえ	熊本市現代美術館	アールヌーヴォーの代表的な柄の切り絵とミュ シャのぬり絵を実施	1月27日-3月31日	1000人
AIストラップづくりワー クショップ	山口紗瑛(アーティスト)	AIに指示を与えて描き出した絵をストラップに するワークショップ	2月4日	19人
[MW]ミュシャポスター 展	—	ミュシャ展に関連した高品質のジグレイポスター などの展示販売。	2月10日-4月8日	—
うみのなかのいきもの をえがこうワークショッ プ	コーダ・ヨーコ(イラストレー ター)	うみの中の生き物を描き、参加費をのとしま水 族館に寄付するチャリティワークショップ	2月18日	24人
ラテアートワークショッ プ	TOMOMI(バリスタ)	本格的なラテアートを体験するワークショップ	2月24日	8人
ケーキ箱のお部屋づく りワークショップ	熊本県インテリアコーデ ィネーター協会	実際の壁紙やカーテン生地を使い、ケーキ箱の中 にお部屋をつくってみるワークショップ	3月16日	30人
紙でとことん作ろう ワークショップ	itiiti (アーティスト)	普段はごみにしてしまう紙を使っておおきな紙 風船をみんなで作ってみるワークショップ	3月23日	10人
Mucha Mucha Mosha Mosha ミュージックワーク ショップ	野村誠(作曲家)	現在開催中の展覧会「ミュシャ展」の作品を楽譜 にして音楽を作ってみるワークショップ	3月31日	19人
合計				1,831人

公益目的事業

公1:美術館における展覧会事業その他の文化芸術の振興事業【令和5年度実績一覧】

ア 展覧会等

1 メインギャラリー(ギャラリーⅠ・Ⅱにおける展覧会)

(1)ギャラリーⅠ・Ⅱ

チラシ	展覧会名	展覧会内容	期 間	入場者数
	坂口恭平日記	熊本出身・在住の坂口恭平によるパステル画701点とアトリエによって構成した企画展。坂口の思考と創造の営みを紹介することによって、私たち自身の生きる日々を見つめ直した。	4月1日-4月16日 (14日間) ※2月11日-3月31日 (42日間/前年)	4,090人
	CAMKコレクション展 Vol. 7 未来のための記憶庫	熊本市現代美術館の約20年の活動のなかで蓄積されてきた文化的記憶をたどりながら、パブリックコレクションの意味を確かめ直すことを試みる収蔵品展。	4月29日-6月25日 (50日間)	3,081人
	動画クリエイター展	現在活躍する動画クリエイター(YouTuber)9組の「制作の舞台裏」を公開し、さまざまなYouTuberのなりきり体験を楽しむ「ジブン発信」のヒントが見つかる展覧会。	7月8日-9月24日 (68日間)	19,017人
	遠距離現在 Universal / Remote	パンデミックをきっかけに考えるようになった社会の在り方、その中の私たちの暮らしや労働など、様々な事象を現代美術を通して考察する展覧会。国内外で活躍する作家8名と1組が参加。	10月7日-12月17日 (62日間)	4,534人
	第35回 熊本市民美術展 熊本アートパレード	15歳以上(中学生は除く)の熊本市在住・在学・在勤者または熊本市出身者なら誰でも無審査で出品することができるアンデパンダン形式の公募展。 審査員:鈴木康広(アーティスト) 出品点数:268点 ※エで再掲	1月13日-1月28日(14日間)	2,868人
	ミュシャ展 マルチ・アーティストの先駆者	アール・ヌーヴォーの代表的な画家アルフォンス・ミュシャのマルチ・アーティストとしての先駆性を紹介する内容。チマル・コレクションより、ポスター、書籍の挿絵、素描、油彩画など全169点を出品。	2月10日-3月31日(44日間) ※4月1日-4月7日 (6日間/次年)	22,695人
合計				56,285人

2 小ギャラリー(ギャラリーⅢ・井手宣通記念ギャラリー)における展覧会

(1)ギャラリーⅢ

チラシ	展覧会名	展覧会内容	期 間	入場者数
	CAMKコレクション 目の部屋と手の部屋	視覚と触覚という異なる感覚器官による作品鑑賞をとおして、「作品を見る」ことの広がりを探っていく小企画。「目の部屋」では対話による鑑賞を、「手の部屋」では手袋を着用して作品にさわる鑑賞を推奨。	4月1日-5月14日 (38日間) ※3月8日-3月31日 (21日間/前年)	3,877人
	中村賢次展 畏(おそれ)と安(やすらぎ)	熊本出身・在住の日本画家中村賢次の個展。阿蘇や、肥後六花などをモチーフにした絵画作品13点を出品。	5月17日-7月30日(65日間)	7,246人
	武内明子展 空っぽと詩	不知火海を望むのどかなまちで、豊かな自然に包まれながら、日常をみずみずしい色と形で描き出す武内明子の新作・近作を発表。	8月3日-10月9日 (59日間)	8,283人
	烏山秀直展 絵画になる時間	長崎県諫早市を拠点に活動するアーティスト、烏山秀直の個展。	10月12日-12月20日 (60日間)	4,469人
	NOT PERMANENT BUT PERMANENT-東儀一郎が見た昭和の 坂本	戦後の高度経済成長時代に、八代市坂本町の風景を撮り続けたアマチュアカメラマン・東儀一郎(1917-2001年)が残したネガやプリントを現代に蘇らせるアーカイブ写真展。	12月23日-2月25日 (51日間)	4,575人

2 小ギャラリー(ギャラリーⅢ・井手宣通記念ギャラリー)における展覧会

(1)ギャラリーⅢ

チラシ	展覧会名	展覧会内容	期 間	入場者数
	CAMKコレクション 静物へのまなざし	コレクションより「静物」を扱った作品を紹介し、作品と静物の関係や「静物をまなざすこと」について考察する。	2月28日-3月31日 (29日間) ※4月1日-5月27日 (49日間/次年)	3,711人
合計				32,161人

(2)井手宣通記念ギャラリー

チラシ	展覧会名	展覧会内容	期 間	入場者数
	CAMKコレクション 目の部屋と手の部屋	視覚と触覚という異なる感覚器官による作品鑑賞をとおして、「作品を見る」ことの広がりを探っていく小企画。「目の部屋」では対話による鑑賞を、「手の部屋」では手袋を着用して作品にさわる鑑賞を推奨。	4月1日-5月14日 (38日間) ※3月8日-3月31日 (21日間/前年)	3,877人
	中村賢次展 畏(おそれ)と安(やすらぎ)	熊本出身・在住の日本画家中村賢次の個展。阿蘇や、肥後六花などをモチーフにした絵画作品13点を出品。	5月17日-7月30日 (65日間)	7,246人
	武内明子展 空っぽと詩	不知火海を望むのどかなまちで、自然に包まれながら、日常をみずみずしい色と形で描き出す武内明子の新作・近作を発表。	8月3日~10月9日 (59日間)	8,283人
	烏山秀直展 絵画になる時間	長崎県諫早市を拠点に活動するアーティスト、烏山秀直の個展。	10月12日-12月20日 (60日間)	4,469人
	CAMKコレクション展 地面から	同時期に開催した公募展「熊本アートパレード」のテーマ「足元の展望台」をヒントに、9点を展示。	12/23-2/25 (51日間)	4,575人
	CAMKスクリーニング Vol.1 山内光枝	国内外で活躍を続ける福岡在住の作家、山内光枝の中・長編映像作品のスクリーニング企画。収蔵品から《つれ潮》と《信号波》という山内の近年の代表的映像作品2点を上映。	2月28日-3月31日 (29日間)	3,711人
合計				32,161人

3 フリーゾーン・階段ギャラリー等における展覧会

(1)フリーゾーン

展覧会名	展覧会内容	期 間
該当なし	—	—

(2)階段ギャラリー

展覧会名	展覧会内容	期 間
つながる、広がる、花まるワールド ～花まるで世界をつなげよう～	保育園生から高齢者まで、様々な方が描いた【絵花まる】150点を展示	4月30日-5月28日 (25日間)
大城組の巨匠たち展	熊本市の支援学級で長年教鞭をとる大城先生とその教え子たちによる作品展	7月30日-8月27日 (25日間)
あおば支援学校作品展	熊本市立あおば支援学校 小学部・中学部の合同作品展	10月5日-20日 (14日間)
街なか子育てひろば こどもたちの青い鳥	街なか子育てひろば開所10周年を記念し、子どもたちが描いた「青い鳥」を展示。 協力:コーダ・ヨーコ(イラストレーター)	11月17日-12月8日 (19日間)
熊本大学附属特別支援学校中学部 作品展	熊本大学特別支援学校中等部に通う生徒の造形作品展	12月9日-1月12日 (25日間)
ゴッホを探せ! 絵画コンクール	熊本市北区役所による絵画コンテストの入賞作品展。区の花・ひまわりがテーマ。	2月14日-2月26日 (12日間)

イ コンサート、パフォーマンス等

1 ホームギャラリーや街なか(商店街等)における公演

(1)作品上映会

展覧会名	演題	内容	開催日	参加者
CAMKコレクション 目の部屋と手の部屋	ドキュメンタリー映画「白い鳥」	全盲の美術鑑賞者 白鳥建二さんを追った ドキュメンタリー映画の上映。	5月4日	18人
合計				18人

(2)パフォーマンス

展覧会名	演題	出演	内容	開催日	参加者
坂口恭平日記	[歌会]前野健太×坂口恭平	前野健太(シンガーソングライター、俳優)、坂口恭平(出品作家)	前野健太と坂口恭平が交互に歌うライブ	4月1日	115人
中村賢次展 畏(おそれ)と安(やすらぎ)	公開制作	中村賢次	事前申し込みの10名が持参した花を描く公開制作	5月20日	100人
中村賢次展 畏(おそれ)と安(やすらぎ)	公開制作	中村賢次	会場内での公開作品制作・アーティストトーク、素材に関するレクチャーなど	5月27日、 6月3、4、11、24日 7月2、8、15、16、23、 29、30日	—
烏山秀直展 絵画になる時間	公開制作	烏山秀直	ドローイング公開制作	10月12日	-
ミュシャ展 マルチ・アーティストの先駆者	ミュージアムトーク&ミニリサイクル	田中彩子、有島京	有島京によるピアノ、田中彩子による歌唱と、お二人への質問形式でのトーク(司会：富澤治子)	3月21日	300人
合計					515人

ウ 講演会、トークショー、ギャラリーツアー等

1 ホームギャラリーや展覧会場等における講演

(1)アーティスト・トーク

展覧会名	演題	講師等	内容	開催日	参加者
未来のための記憶庫	ChatGPTと現代アート	中ザワヒデキ(美術家)草刈ミカ(美術家)花田伸一(キュレーター)佐々木玄太郎(当館学芸員)	AI美芸研の活動の歴史を振り返りながら、昨今注目が集まるChatGPTと現代アートをテーマとしたトーク	6月4日	30人
中村賢次展 畏(おそれ)と安(やすらぎ)	アーティストトーク	中村賢次(出品作家)	出品作家によるトーク	6月17日	47人
武内明子「空っぽと詩(うた)」	アーティストトーク	武内明子(出品作家)	出品作家が自身の創作について語る。	8月13日	35人
動画クリエイター展	テクノロジーとアートの交差点 -WEB3と美術館-	日比野克彦館長、長谷直達(Colori代表取締役社長)中原功寛(やまがBASE代表取締役CEO)針北陽平(Chatworkマネージャー)	近年注目されるブロックチェーン技術を活用した分散型ウェブの世界である「WEB3(ウェブスリー)」。熊本で活動するオンラインコミュニティ「Kuma3(くまさん)」メンバーと日比野克彦が、テクノロジーとアートの交差点について語る。	9月6日	50人
武内明子「空っぽと詩(うた)」	インスタライブ	武内明子(出品作家)	作家のアトリエから自身の創作を語るインスタライブ。担当学芸員が相手役となり、視聴者の質問も募集。子育て中の作家の可動時間での開催を目指し平日日中に実施する代わりに、アーカイブ録画を残した。	10月3日	74人
武内明子「空っぽと詩(うた)」	クロージングトーク	武内明子(出品作家)	出品作家が学芸員や来場者からの質問に答える形式で、出展した作品を語る。	10月9日	18人
合計					254人

(2)講演会

展覧会名	演題	講師等	内容	開催日	参加者
未来のための記憶庫	更新される“コレクション”の概念	平 諭一郎(東京藝術大学 未来創造継承センター准教授／熊本市美術品等収集審査委員会委員)	文化財・芸術の保存と継承を専門とする研究者で、当館の収集活動にも関わっていた平諭一郎さんを講師に招き、当館の直近の収集活動も例に挙げながら、その考え方についてお話しいただいたトーク。	5月13日	15人
遠距離現在 Universal / Remote	[オープニングトーク]	尹 志慧(国立新美術館特定研究員)	出品作家の紹介や、社会的なテーマの展覧会を開催することについての講演会。	10月7日	26人
第35回熊本アートパレード	審査員講演会	鈴木康広(アーティスト)	入賞作品のスライド審査講評と、本年度審査員の活動や代表作品についての紹介	1月13日	50人
ミュシャ展 マルチ・アーティストの先駆者	開館記念ミニトーク	ヴァレンティン・ズヴィニョフスキー(ミュシャ展コーディネーター)	チェコと中央ヨーロッパの文化・生活の魅力をテーマとして5つの質問に回答してもらうトーク。	2月10日	46人
ミュシャ展 マルチ・アーティストの先駆者	開催記念講演会「バルエポックの寵児：アルフォンス・ミュシャ」	千足伸行(成城大学名誉教授、広島県立美術館館長)	同時代の世紀末美術との比較を交えながらミュシャの作品と人生、関わった人々について紹介する講演会	2月24日	55人
CAMKコレクション 静物へのまなざし	「アート×美術館×認知症：アートリップの概要と効果」	林容子(一般社団法人アーツアライブ代表)	アーツアライブの林容子氏らが手掛ける「アートリップ」は、ニューヨーク近代美術館で行われている鑑賞プログラムを日本人向けにアレンジし開発されたプログラム。認知症の方も介助者と一緒にアートを楽しむことができる同プログラムの概要と効果についての紹介。	3月2日	17人
合計					209人

(3)ギャラリー・トーク

展覧会名	講師等	内容	開催日	参加者
未来のための記憶庫:記憶庫から記憶を引き出してみる	佐々木玄太郎(学芸員)	出展作品の制作過程や展示、収集などの場に関わった人々とともに会場を回り、各作品にまつわる記憶をよみがえらせ、ご来場の皆さんと共有するトーク。	4月29日	20人
CAMKコレクション 目の部屋と手の部屋	里村真理(学芸員) 岩崎美千子(学芸員)	学芸員がファシリテーターをつとめ、対話型鑑賞行う。	4月30日 5月4日 5月5日 5月14日	21人
CAMKコレクション 目の部屋と手の部屋	岩崎美千子(学芸員)	「'さわる' ギャラリー・トーク」と題し、アイマスクをつけて触覚だけをたよりに作品鑑賞を試みる。	5月6日	2人
未来のための記憶庫:熊本市現代美術館 アートワークツアー	富澤治子(学芸員)	館内のさまざまな場所に建築と一体化した形で設置された作品をめぐるツアー	5月7日 6月3日	20人
未来のための記憶庫:熊本市役所アートワークツアー	佐々木玄太郎(学芸員)	風景の一部として慣れ親しんでいるそれらの作品に改めて注目し、その制作時の構想と現在の状況を見比べながら、「パブリックなアート」のあれこれについて考えるツアー	5月24日 6月16日	18人
遠距離現在 Universal / Remote	池澤茉莉(学芸員)	近くに勤めていても、夜まで仕事で美術館に足を運ぶ機会のない中央商店街の方々のための閉館後(20時以降)の特別ツアー	10月25日 11月11日	9人
ミュシャ展 マルチ・アーティストの先駆者 ギャラリーツアー	富澤治子(学芸員)	学芸員が展覧会場を案内するツアー	3月1日 3月30日	45人
ミュシャ展 マルチ・アーティストの先駆者 ナイトツアー	富澤治子(学芸員)	中央商店街に勤務する方々に向けた学芸員が展覧会場を案内するツアー(招待)	3月14日 3月17日	89人
合計				224人

エ 公募による展覧会

1 熊本市にゆかりのある人なら誰でも出品することができ、出品された作品は全て展示する市民公募展の開催

展覧会名	展覧会内容	期 間	入場者数
第3回 熊本市市民美術展 熊本アートパレード	15歳以上(中学生は除く)の熊本市在住・在学・在勤者または熊本市出身者なら誰でも無審査で出品することができるアンデパンダン形式の公募展。 審査員:鈴木康広(アーティスト) 出品点数:268点	1月13日-1月28日 (14日間)	2,868人
合計			2,868人

オ 他館での企画展事業支援

展覧会名	展覧会内容	期 間	入場者数
マンガ県くまもと展	熊本出身のマンガ家の色紙や略歴、熊本で漫画を展示するミュージアムの紹介、読書コーナーなどを展示。当館の解説パネルの執筆と資料提供を行った。(くまもと文学・歴史館)	7月21日-9月25日 (57日間)	11,000人
合計			11,000人

カ 災害復興支援事業

1 無料展覧会・企画展等被災者への復興応援事業

2 被災地の自治体や文化振興を目的とする団体等への寄付

※上記1.2については、令和5年度は実施していない

公益目的事業

公2:美術館等における文化芸術の調査研究等事業【令和5年度実績一覧】

ア 調査研究

事業内容	主な研究分野
1.美術館・文化芸術全般	サンリオ展
	ガラスの器と静物画展
	ライフ2展
	LOVEファッショ展
2.九州又は熊本ゆかりの作家	森内和久、よね(米村知倫)など九州内各県の作家調査
3.熊本ならではの文化や歴史	生人形ほか
4.市収蔵作品、他館からの借用作品	市収蔵作品(井手宣通ほか)についての調査研究
	ライフ2展、LOVEファッショ展の出品作品調査

調査研究内容の公表方法	実績
1.展覧会、講演、紀要・論文等	展覧会開催及び図録の発行。講演会等の開催や論文寄稿等による公表 2022年度、23年度年鑑【アートガマダス】トークイベント載録等を公式HPでweb掲載
2.情報システム管理によるデータの蓄積、ホームページや館における閲覧の公表	市収蔵作品リスト(1,364点)
3.収蔵作品の展示公開／他館への貸出／特別利用	熊本市現代美術館における展示公開(108点) 他館への貸出(1点) 特別利用(熟覧:11点、撮影:1点)
4.館内での閲覧(図書資料等)	ホームギャラリー、アートスカイギャラリー、キッズサロン(子育てひろば)における閲覧
5.借用元への情報提供	調査研究内容についての情報提供

職員ごとの調査研究内容	実績
岩崎千夏	執筆 「巻頭言」『AG2022』2023年／熊本市現代美術館(日比野館長インタビュー書き起こし)
	講演 教育を盛り上げる会「まちづくり×教育—ごちゃまぜで教育をかたー」スペシャル鼎談「これからの教育を考える」2023年12月2日 KEW子ども・地域・教育フォーラム公開ご用聞き「中緑小学校」2024年1月27日 KEW子ども・地域・教育フォーラム「CAMKで考える地域教育のしあさって」2024年1月27日 ちくごアートリレーション2023福岡県文化芸術講座—アートって私たちの生活や社会に必要な?「事例紹介 熊本市現代美術館の『ご用聞き』とは?」2024年2月11日
	外部委員 公益財団法人熊本県立劇場役員候補者選考委員会委員 坂本善三美術館運営協議会委員 必由館高等学校改革に関するコンソーシアム会議委員 熊本県文化協会常務理事(館長代理) 熊本県文化懇話会常任世話人(館長代理)
富澤治子	執筆 「上路市剛作品試論—日本近代彫刻誕生からずいぶん時間が経ったので、作家達も色々やりやすくなったよね—」『上路市剛作品集 受肉』、アートダイバー、2023年 解説:井手宣通、田代順七、坂本善三、今田淳子、林浩、秀島由己男、川内倫子、石内都「CAMKコレクション展 vol.7 未来のための記憶庫」カタログ、熊本市現代美術館、2023年 「未来のための記憶庫」展に寄せて—不平等の先 新たな表現」、熊本日新聞朝刊、2023年6月13日 「スイスに残る生人形調査から」熊本日新聞朝刊、2023年10月26日 「ミュシャ展マルチ・アーティストの先駆者① ポスター「黄道十二宮」」熊本日新聞朝刊、2024年3月5日 「ミュシャ展マルチ・アーティストの先駆者② ポスター「椿姫」」熊本日新聞朝刊、2024年3月9日 「ミュシャ展マルチ・アーティストの先駆者③ ホイットマン社チョコレート(お好み詰め合わせ1ポンド)缶のパッケージ」熊本日新聞朝刊、2024年3月11日 「ミュシャ展マルチ・アーティストの先駆者④ 装飾皿「ビザンティン風の頭部:ブロンド」」熊本日新聞朝刊、2024年3月14日 「ミュシャ展マルチ・アーティストの先駆者⑤ パウダーボックス「7月」」熊本日新聞朝刊、2024年3月20日 「ミュシャと音楽」、ミュシャ展プレミアム企画田中彩子・有島京リサイタルのプログラム、2024年3月20日 「ミュシャ展マルチ・アーティストの先駆者⑥ 油彩画「エリシユカ」」熊本日新聞朝刊、2024年3月24日
	発表 「What Ideas Did the Ikiningyo Capture? And What Were the Differences between Reception in the West and in Japan? 生人形は何を写したか、西欧と日本それぞれで見たものの違い」『International Symposium: The Art of the Japanese Copy』チューリッヒ大学(スイス)、2023年9月19日 「ミュシャ展マルチ・アーティストの先駆者」前売券販売開始 記念トークイベント(RKK系永アナウンサーとの対談)、蔦屋書店熊本三年坂、2023年12月24日 ミュシャ展プレミアム企画 田中彩子・有島京リサイタルプレトーク「ミュシャと音楽」ミュシャ展実行委員会(RKK・熊本市美術文化振興財団)、熊本市立劇場、2024年3月20日
	動画 「ミュシャ展マルチ・アーティストの先駆者」前売券販売開始 記念トークイベント(RKK系永アナウンサーとの対談)、蔦屋書店熊本三年坂、2024年12月24日(字幕監修) ※RKKによる公開

職員ごとの調査研究内容(つづき)		実績
富澤治子	監修	「秀島由己男作品保存管理アドバイスならびに作品調査」和水町教育委員会、2023年5月27日-2024年3月2日まで5回実施
		玉名圏定住自立圏での連携事業として開催する和水町収蔵による「秀島由己男展」準備・打ち合わせ、2023年10月11日
		ミュシャ展熊本限定紙バッグ、ミュシャ展実行委員会(RKK・熊本市美術文化振興財団)、2024年2月10日
		ミュシャ展プレミアム企画田中彩子・有島京リサیتال、ミュシャ展実行委員会(RKK・熊本市美術文化振興財団)、熊本県立劇場、2024年3月20日
	外部委員	RKK番組審議会
坂本顕子	執筆	「アートしている」人たちが確かに地域に——万田坑芸術祭と「おぐに美術部と作る善三展『好きなものを好きって言う』with 森美術館」からの風景『DNP artscape キュレーターズノート』2023年12月15日
		「VOCA2024 現代美術の展望—新しい平面の作家たち(宮内裕賀解説)」VOCA展実行委員会、2024年3月
		「鹿児島の近現代」教育センター 令和5年度地域マネジメント教育研究プロジェクト「アートと地域と教育」報告書、2024年3月
	発表	「おかえりなさい、シスコさん 100年前の松橋を旅する」展トークイベント「シスコさんってどんな人？」不知火美術館、2023年4月15日
		「しごとと学びWEBライブ 展覧会の仕事」NPO法人ソナエトコ、崇城大学、2023年7月11日
		「鹿児島の近現代」教育センター 令和5年度地域マネジメント教育研究プロジェクト トークイベント「アートと地域と教育」鹿児島大学、2023年12月1日
		まちづくりスクールプロジェクト「500m のまちづくりを考える」益城町復興まちづくりセンター、2024年1月27-28日
		「アートマネジメントについて ヘリテージマネージャー講習会(講演+ワークショップ)」熊本県建築士会、2024年2月3日
	外部委員	VOCA2024展推薦委員
		地域創造 地方公立美術館活性化委員会委員
佐々木玄太郎	執筆	「記憶庫としてのコレクションと、熊本市現代美術館の作品収集方針」『CAMKコレクション展Vol.7 未来のための記憶庫』カタログ、熊本市現代美術館、2023年4月
		解説:海老原喜之助、田代順七、浜田知明、青木豊、坂本夏子、金陽会、真珠子、田上賢二、浦川大志、名もなき実昌、マリーナ・アブラモヴィッチ、ルー・ヤン、日比野克彦「CAMKコレクション展 vol.7 未来のための記憶庫」カタログ、熊本市現代美術館、2023 年
		「〈未来のための記憶庫〉展に寄せて:保存作品 熊本の一部に」熊本日日新聞朝刊、2023年6月13日
		「地方論／日本人論としてのしまうちみか作品」しまうちみか個展「辺境の宇宙」(MARUEIDO JAPAN)、2024年3月
	登壇	「中国現代美術の1980-90年代『85新潮』の前衛意識から、国際化・市場化の『操作』の時代へ」art space tetra、2024年2月4日
		畑直幸個展「Heterotrophs」アーティストトーク(聞き手)AIR motomoto、2023年10月8日
池澤茉莉	執筆	「坂口恭平の日々のアーカイブ:パステル画オンライン・カタログ・レゾネを通して」『DNP文化振興財団学術研究助成紀要』5号、DNP文化振興財団、2023年
	その他	坂口恭平パステル画オンライン・カタログ・レゾネ更新
		坂口恭平『Pastel』左右社、2023年 編集協力・情報提供
		坂口恭平「Museum」作品調査及び展示補助
岩崎美千子	執筆	論考『『Glass Tableware in Still Life』にのつての写真(みること)」、作家紹介(イルヴァ・カールグレン、イエンス・フェンゲ、ニクラス・ホルムグレン、マリーア・ノルディン、レベッカ・トレンス、)『ガラスの器と静物画 山野アンダーソン陽子と18人の画家』展覧会カタログ、ブルーシープ、2023年
	発表	「熊本市現代美術館のアートコミュニケーション—学校連携事業を中心に—」九州図画工作・美術教育研究会、2023年11月17日
里村真理	編集・執筆	中野裕介／パラモデル「かなたをよむ:海と空のあいだのP」展カタログ(展覧会開催:不知火美術館・2022年)P出版、2024/3 編集・論考執筆
	企画	宇城市不知火美術館開催「おかえりなさい、シスコさん 100年前の松橋を旅する」企画 藤浩志「トイパラダイス:トイザウルスのすむ楽園」企画
	外部委員	天草市立キリシタン資料館運営委員

イ 熊本市収蔵作品整理、保管、貸出等事業

内容			点数等	
収蔵作品の整理、保管、貸出	市収蔵作品点数		1,364点	
	熊本市現代美術館における展示公開		108点	
	他館での展示のための貸出 ※いずれも無償で貸与	安本亀八《相撲生人形》	1点	
		ジュン・グエン＝ハツシバ《メモリアル・プロジェクト ナ・トラン、ベトナムー複雑さへー勇気ある者、好奇心のある者、そして臆病者のために》	1点	
		合計	2点	
	特別利用(熟覧・撮影等)	田代順七《熊本城風景(夏の熊本城)》	1点	
		田代順七《新町界隈風景(新町所見)》	1点	
		田代順七《天草》	1点	
		田代順七《防波堤》	1点	
		田代順七《初秋の庭》	1点	
		田代順七《城内風景(A)》	1点	
		田代順七《街角》	1点	
		田代順七《晩秋の河畔》	1点	
		田代順七《球磨川》	1点	
		田代順七《鳥小屋》	1点	
		古場田博《二本木遊郭絵巻物明治・大正時代(上・中・下 計3巻)昭和時代(上・中・下 計3巻)》	1点	
		合計	11点	
	作品画像貸出件数	塔本シスコ《ふるさとの海》	1点	
		安本亀八《相撲生人形》	1点	
		田部光子《人工胎盤》	1点	
		合計	3点	
	作品修復		須田悦弘《雑草》	1点
令和5年度 新規作品収蔵	購入	ひびのこづえ《「ROOT:根」上演資料(2023年高知公演、作家撮影による上演記録動画)》2023年	2点組	
		武内明子《空のプール》2023年	1点	
	寄贈	中村賢次《阿蘇外輪山の夜》2010年	1点	
		中村賢次《野焼きー阿蘇ー》2022年	1点	
		小材啓治《古代賛歌》2008年	1点	
		小材啓治《ふるさとの詩(古墳)》2011年	1点	
		小材啓治《阿蘇》2019年	1点	
		小材啓治《阿蘇》2021年	1点	
		松本寛庸《さかなのオリンピック》2008年	1点	
		松本寛庸《さかなのオリンピック》2008年	1点	
		松本寛庸《さかなのオリンピック》2008年	1点	
		梅本妙子《題名不詳》1980年代	1点	
		湊田安子《静物》1990年	1点	
		秀島由己男《蝶 (歌画集「蝶紋」)》1977年	1点	
		秀島由己男《時差》1985年	1点	
		森山裕之《無題》2000年代	1点	
		武内明子《空の粒、風の縞》2023年	1点	
		武内明子《チョコレートに散らばった》2023年	1点	
図書資料管理	図書資料等の収集	開架用書籍(絵本、漫画等含む)	24冊	112件
		刊行物	22誌	
		研究書(展覧会企画等に利用)	55冊	
		映像・音楽資料	11本	
	図書装備	装備	0冊	14冊
		コーティング	14冊	
	図書資料データ管理	一般図書(絵本、漫画等含む)	31,475件	33,826件
		逐次刊行物	278件	
		映像資料(CD等含む)	2,073件	

公益目的事業

公3:美術館等における文化芸術活動の支援及び教育普及等事業【令和5年度実績一覧】

ア 教育普及

1 市民参加型ワークショップ

(1)ワークショップ

展覧会名	タイトル	出演	内容	開催日	参加者
坂口恭平日記	[イベント]旧アトリエ特別公開	—	坂口が2019年2月から制作場所として使っていた旧アトリエを公開。坂口が使用しているのと同じ画材でパステル画を描く機会も提供。	4月6日	16人
CAMKコレクション 目の部屋と手の部屋	アートリップ	林容子 (一般社団法人 アーツアライヴ)	認知症の方とその介助者を対象とした作品鑑賞プログラム	4月9日	8人
未来のための記憶庫	私たちは、いにしえからの最高傑作	真珠子 (出展作家)	歌舞伎をモチーフにした作家オリジナルのタロットカードぬり絵を、いまの自分の心の色で塗り、それをもとに真珠子がカウンセリングをおこなうワークショップ。	5月20日	7人
動画クリエイター展	テレビ局のお仕事を体験してみよう！	KKT熊本県民テレビスタッフ 学芸員	テレビ局内のスタジオや報道フロアなどを見学して様々な仕事について学び、実際にアナウンスや撮影を行って動画を作成するワークショップ。	8月6日	14人
動画クリエイター展	はじめてのe-sports ワークショップ	千原台高校e-sports部	高校生のe-sports部員が初めての方にもやさしく指導し、あわせてその様子を映像化するワークショップ。	9月3日	12人
ミュシャ展 マルチ・アーティストの先駆者	ミュシャ展プレイベント ミュシャのぬりえ	—	ミュシャ財団がフリーで公開しているぬりえ3種の体験。*RKK熊本放送「ミュシャ展熊本ご招待#ハッシュタグキャンペーン」と連携	9月1日-11月30日	—
武内明子展 空っぽと詩	空の詩ーわたしとあなたとまんなかの色ー	武内明子 (出展作家)	絵具の箱には入っていない色を作りながら、色のことをじっくり考えるワークショップ。各人の空の色を作り、作家の色と並べ、またその中間の色を作ったりと混色の深さを知る	9月17日	19人
烏山秀直展 絵画になる時間	自分で作る顔料と絵画制作の実践	烏山秀直 (出展作家)	オリジナルの絵具作りを体験し、絵を描くワークショップ。参加者が持ち寄った素材を切ったり、すり潰したりして「顔料」にしてみる。	10月14日	15人
NOT PERMANENT BUT PERMANENTー 東儀一郎が見た昭和の 坂本	ワークショップ「坂本の 風景を語る・味わう」	豊田有希(写真家)、 溝口隼平(リバーガイド)	坂本名物のぼたもちを味わいながら東儀一郎氏の作品や坂本の風景について語るワークショップ。	12月23日	40人
—	特別上映+アフタートーク	白鳥建二 川内有緒 日比野克彦	ドキュメンタリー映画「目の見えない白鳥さん、アートを見にいく」の上映会。上映後、出演者の白鳥建二氏、映画監督の川内有緒氏、日比野克彦館長の3者によるアフタートークを開催。	12月16日	61人
—	白鳥さんと作品鑑賞	白鳥建二	全盲の美術鑑賞者 白鳥建二氏をナビゲーターに作品を鑑賞する。	12月16日 (午前、夜の2回)	9人
ミュシャ展 マルチ・アーティストの先駆者	ミュシャ展ミニ企画「ミュシャのぬりえ」	—	ミュシャ財団がフリーで公開しているぬりえ3種の体験。	1月29日-3月31日	—
CAMKコレクション 静物へのまなざし	アートリップ	林容子 (一般社団法人 アーツアライヴ)	認知症の方とその介助者を対象とした作品鑑賞プログラム	3月2日	5人
ミュシャ展 マルチ・アーティストの先駆者	ミュシャ展 2万人ありがとう！ナイトタイムwith ミュシャ キャンペーン	—	平日17時以降の入場者増(開始日からの平日17時以降入場者目標:600名)を目的とするキャンペーンくじ(先着600名)	3月27日-29日	155人
ミュシャ展 マルチ・アーティストの先駆者	ミュシャの「しおり」ワークショップ	富永育代 (RKK職員)	ミュシャ展未使用チケットのアップサイクルを目的としたしおり制作ワークショップ	3月30日、31日	300人
合計					661人

2 美術館ツアー、出張授業等

1)美術館を活用してもらうために、申し込み制で家庭教育学級等をはじめ、一般や学校のグループ向け美術館ツアーを実施。

参加者	受入団体数	参加人数
未就学児	1団体	13人
小学校	23団体	524人
中学校	16団体	228人
高校	12団体	368人
大学	6団体	84人
専門学校	6団体	253人
一般	55団体	766人
合 計	119団体	2,236人

(2)視察

団体名	担当課等	内容	開催日	参加者
さいたま市	文化政策室	市民等の多様化する文化芸術活動を支えることができるよう文化施設機能を充実させるため、美術館等文化芸術創造拠点構築を検討するに当たっての調査	1月10日	2人
豊橋市	豊橋市議会まち フォーラム	10月に開催された全国都市問題会議において、基調講演で日比野館長が紹介した「ご用聞き」と「総合計画展」についての視察	2月6日	2人
合 計				4人

2)美術館をより身近に感じてもらい次回の活用を促すため、申し込み制で学校等に向けた出張授業やワークショップ

(1)アートバス(展覧会鑑賞)

種別	対象	内容	開催日	参加者
鑑賞	武蔵小学校(特別支援学級1-6年生)	動画クリエイター展 鑑賞	7月10日	28人
	山本小学校(3-5年生)	動画クリエイター展 鑑賞	7月12日	40人
	川口小学校(1-2年生)	動画クリエイター展 鑑賞	9月8日	16人
	武蔵小学校(3年生)	ミュシャ展 マルチ・アーティストの先駆者 鑑賞	2月22日	63人
合 計				147人

(2)アートプログラム

タイトル	対象	内容	開催日	参加者
何でも「版」になる！	平成さくら支援学校	版画家の東弘治氏を講師に、版画を体験するワークショップ。	11月17日	19人
レインボーマンの虹色大作戦	田迎南小学校	アーティスト・レインボー岡山と児童による、学校体育館に虹の世界を作るワークショップ。	1月24日、25日	822人
フリーカップをつくろう	合志市陽光台子ども会	陶芸家の田口和代氏を講師に、玉づくりと紐づくりの陶芸体験。湯呑やマグカップなど、フリーカップを制作。	1月28日	19人
合 計				860人

(3)出張授業、研究会等

種別	対象	内容	開催日	参加者
出張レクチャー	九州ルーテル学院大学	講義「美術史」のゲスト・ティーチャー枠。熊本市現代美術館のコレクションについて、開催中の「CAMKコレクション 未来のための記憶庫」の内容と併せて紹介。	6月13日	43人
教育ICTを活用した オンライン学習支援	不登校の小学生・中学生	「フレンドリーオンラインわくわく学習」への協力で、「動画クリエイター展」を中継。	7月12日	40人
出張レクチャー	熊本デザイン専門学校	美術館や展覧会に関する出張授業。「動画クリエイター展」について紹介。	7月18日、19日	150人
夏期造形教育研修会	熊本県内の小中学校教員	毎年夏に行われている造形教育研修会にて、美術館の利活用を提案。体験型の展覧会「動画クリエイター展」を紹介。	8月4日	100人

(3)出張授業、研究会等(つづき)

種別	対象	内容	開催日	参加者
教育ICTを活用したオンライン学習支援	教育ICTを活用したオンライン学習支援担当の教員	「フレンドリーオンラインわくわく学習」にて、ワンピース像を題材にした授業への協力。	10月6日	40人
九州図画工作・美術教育研究会	九州圏内の小中学校教員	熊本市現代美術館の学校連携事業について紹介。※公2アに再掲	11月17日	150人
教育ICTを活用したオンライン学習支援	不登校の小学生・中学生	「フレンドリーオンラインわくわく学習」への協力で、「烏山秀直展 絵画になる時間」の中継と関連ワークショップの紹介	11月22日	40人
収蔵作品の複製を用いた出張鑑賞会	慶徳小学校	瀧下和之の屏風作品のレプリカを用い、学校で鑑賞授業を実施。	12月19日	50人
授業研究会	熊本市小学校教員	図画工作科における「鑑賞教育」の研究会。美術館と連携した授業の提案として、小学5年生と館内アートワークを使っの対話型鑑賞をサンプル実施した。	1月25日	50人
出張レクチャー	九州ルーテル学院大学	講義「図画工作」のゲスト・ティーチャー枠。教職を目指す学生向けに、熊本市現代美術館の学校連携事業について紹介。	1月27日	45人
合計				708人

(4)その他

種別	連携先	内容	開催日	参加者
博物館実習	各大学	学芸員を志す学生に向けた実習	8月26日-9月1日 (6日間)	11人
ナイストライ (中学生職場体験)	京陵中学校	ナイストライ(中学生職場体験)	9月6日、7日	2人
	湖東中学校	ナイストライ(中学生職場体験)	9月27日、28日	2人
	白川中学校	ナイストライ(中学生職場体験)	10月25日、26日	2人
インターン	開新高校	インターン(高校生職場体験)	11月8日-10日	2人
まちのお仕事めぐり	SPIELEN	大学生サークルによる街なかの親子探検	4月22日	40人
マチノガッコウ	(一社)マチノミライ、熊本大学まちなか工房、地域創生Coデザイン研究所	熊本市内の6校の高校生たちが、自分たちが考えるまちなかの魅力を学ぶまち歩きプログラム	8月20日、9月30日	30人
職場体験(見学)	おおぞら高等学院	通信制高校の職場見学	11月29日	3人
合計				92人

イ 地域文化芸術活動支援

1 若手文化芸術活動者等の支援

種別	連携先	内容	開催日	参加者
音楽	くまもと大邦楽祭実行委員会	7月2日に市民会館シアーズホーム夢ホームで行われる「くまもと大邦楽祭2023」のプレイベントとして開催。箏による演奏会。	6月11日	80人
音楽	STREET ART-PLEX KUMAMOTO実行委員会	グレート・コンポーザー・メモリアルシリーズ”。 バッハ、シューマン、リストのメモリアル演奏	7月28日	75人
		JAZZ OPEN 2023 中心商店街各所でおこなわれるジャズの祭典。美術館では、高橋聡Piano Trio feat.谷口さとみ、豊田隆博Trioの二組が出演	10月7日	180人
合計				335人

2 フリーペーパーの発行等

内容	詳細
ART KISS LETTER	当館で開催する展覧会の各種情報等を掲載するフリーペーパー。通年で5回(109-112号)発行。
ART LAB MARKETとホームギャラリーリニューアル	ART LAB MARKETとホームギャラリーの利用者へのインタビューをまとめ、クラウドファンディング支援者を中心に配布

3 地域個人や団体が行う文化活動の支援やネットワーク構築

(1)共催・後援

種別	連携先	内容	開催日
共催	ぼんくま実行委員会	地域の本関係者によるブックフェスティバル「BON KUMA HON 2023 VOL. 9」の一参加者として、「新しい古本0円市」および『マイ・ブックショップ』映画上映会を当館内で実施。	5月20日 (全体は5月20日-21日)
共催	NPO法人オハイエくまもと	障害のある人もない人も一緒にってつくりあげるコンサート「オハイエくまもと」(まちなか・ホームギャラリーで開催)	5月21日
共催	AI美芸研	ChatGPTと現代アートをテーマとしたトーク	6月4日
共催	上通商栄会	上通アートプロジェクト eスポーツフェスティバルin上通	9月2日 (全体は9月2日、3日)
共催	ヒロ・デザイン専門学校	田山淳朗賞 高校生・中学生ファッション画コンテストin九州・沖縄の展示及び表彰	10月14日
共催	公益財団法人 九州交響楽団	「九州交響楽団70周年記念演奏会プレイベント プレトーク&弦楽四重奏」	1月20日
後援	佐藤朝香	「第24回大阪国際音楽コンクール2台ピアノ部門 最高位受賞記念 山本祐歌×佐藤朝香 2台ピアノリサイタル」	3月9日
共催	公益社団法人 インテリア産業協会 九州支部	LET'S インテリア ケーキ箱のお部屋づくり	3月16日

(2)助言・文化活動支援

タイトル	連携先	内容	開催日
美術館以外の相談・ブレインストーミング等	市民(31回)、企業(5回)、他施設・団体(9回)、市各課(58回)	美術や美術館以外の相談等。まちづくり、障害、生きがい、仕事の方向性や方策等についてのブレインストーミングに違う立場から参加する	のべ103回 参加者のべ227名
Museum展示サポート等	Museum(坂口恭平美術館)	坂口恭平によるパステル画の調査及び展示サポート等 ※公2アに再掲	随時
日比野館長のご用聞き(懇談、課題相談等含む)	熊本市/文化政策課、政策企画課、人材育成センター、市街地整備課、自転車利用推進課、生涯学習課、熊本城総合事務所、こども政策課、水道局、環境政策課、中央区まちづくりセンター、東区、移動円滑推進課	市役所各課に日比野館長と美術館職員が伺い、各課の課題やモヤモヤに対して柔らかな考え方や異なる角度での対話を行う。市職員自らが新しい視点や前向きな思考に触れることで、課題へのアプローチのヒントを得る。(文化政策事業について、総合計画展について、まちづくりの課題、まちづくりにおける企業のあり方、熊本城の復興支援の継続化、水道100周年事業、自転車ヘルメットの普及率アップ、上の裏商店街ブランディング、子どもの意見を取り入れる策、移動しやすいまちづくりへのストーリーづくり、生涯学習必要性の周知、心が動く人材育成研修、生物多様性など等)	のべ21回/13課 参加者のべ185名
ミュージアムIPM指導および作品調査	和水町	和水町所蔵の秀島由己男作品保存管理アドバイスならびに作品調査 ※公2アに再掲	5月27日、7月22日、 10月21日、1月20日、 3月2日
熊本市文化顧問業務支援	熊本市文化政策課	熊本市文化顧問の業務として、東京藝術大学のプログラム研修「Diversity on the Arts」(DOOR)を熊本市職員(20名)が受講。年間10回の講義(オンライン)と4回の実践演習の中で、講義は場所の提供及び開催協力、演習は企画や実施協力を行った。 第1回:肥後朝顔鑑賞・育成担当職員の話聞き、体験/第2回:動画クリエイター展体験・web3講義・交流/第3回:映画「目の見えない白鳥建二さん、アートを見にいこう」の鑑賞、白鳥建二(映画出演者)、川内有緒氏(映画監督)、日比野館長とのトーク、白鳥さんとの「遠距離現在展」鑑賞会/第4回:総合計画のビジョンをつくるワークショップ	ガイダンス:6月9日 講義:6月16日、7月21日、8月18日、9月15日、10月11日、10月19日、11月17日、12月15日、1月11日、1月19日 実践演習:7月14日、9月6日、12月15日、2月9日 参加者のべ280名

(2)助言・文化活動支援(つづき)

タイトル	連携先	内容	開催日
坂本善三美術館運営協議会	坂本善三美術館	坂本善三美術館の事業運営に関する意見、助言等	11月20日
熊本市立必由館高校改革に関するコンソーシアム会議	熊本市学校改革推進課	市立高校改革の一環として、市教育委員会が検討する普通科改革等に関する指導・助言	11月27日 3月11日
民生委員ポスター作成への助言	熊本市こども政策課・熊本市社会福祉協議会・民生員	民生委員の活動を広めるポスター作成への助言	12月18日
熊本市シルバー文化作品展への協力	熊本市高齢福祉課・熊本市老人クラブ連合会	熊本市シルバー文化作品展への助言・協力(作品搬入、展示、撤収、返却への協力、場所(アートロフト)の貸出等)	1月25日-2月3日 (展覧会期)

(3)ネットワーク構築

タイトル	連携先	内容	開催日
RKK 番組審議会	RKKほか県下の文化関係者	毎月、RKKが提案する番組内容を審議することで、熊本県下の放送文化の向上に寄与するもの ※公2アに再掲	4月5日、5月10日、6月7日、 7月5日、9月6日、10月4日、 11月1日、12月6日、 2月7日、3月6日
熊本県立劇場役員候補者選考委員会	公益財団法人熊本県立劇場	熊本県立劇場の役員候補者の検討会議	4月14日
熊本県文化協会常任理事会/文化懇話会世話人会・総会/文化懇話会創立60周年式典	県内の文化関係団体と市町村文化協会	熊本の文化の育成発展に寄与する事業協力、県内の文化関係団体等との情報交換等	4月19日、7月6日、8月3日、 9月14日、3月18日
ベビーカーで行ける美術館プロジェクト	日本大学人文科学研究所	子連れの美術館利用についての意見交換会 テーマ:子連れのトイレ利用	7月10日
熊本市文化創造協議会	熊本市文化政策課	地域文化振興を図る諸団体・機関等の相互の連絡調整会議	7月16日、7月26日、 10月24日、3月29日
地域創造「公立美術館活性化事業企画検討委員会」	地域創造	全国の中小の地方公立美術館の企画力アップのための巡回展提案・審査・内容等の指導に関わる委員会 ※公2アに再掲	12月9日、1月30日 3月27-28日
熊本県立美術館 友の会	友の会世話人会 県下美術館	熊本県内の美術館の相互割引、年4回の広告物発送、友の会運営	—

(4)審査・表彰

タイトル	主催	内容	開催日
第2回東区「まち☆キラ」コンクール	東区	地域の課題であるごみステーションの美化を考えることをテーマにした、小学生を対象にしたポスター・絵画コンクール特別賞審査	9月22日(審査) 10月22日(表彰)
一行詩「いのちのうた」コンテスト2023	公益社団法人くまもと被害者支援センター	小・中・高・一般から募集した、災害や事件、事故などにより奪われた命や身近な人の命など、広く「いのち」を考える機会を持ってもらうための一行詩を審査、講評及び表彰	10月4日(審査) 11月25日(表彰)
田山淳朗賞 高校生・中学生ファッション画コンテストin九州・沖縄	ヒロ・デザイン専門学校	熊本出身のファッションデザイナー田山淳朗氏による、中学生・高校生を対象にしファッション画コンテストの講評	10月14日(講評)
令和5年度心の輪を広げる作文・ポスターコンクール	熊本市障がい保健福祉課	誰もが相互に人格と個性を尊重し支え合う「共生社会」を目指し、障害のある人に対する国民の理解と関心を深めること等を目的とした「障害者週間のポスター」審査、講評	10月19日(審査)
第48回熊本県高等学校美術展	熊本県高等学校文化連盟美術専門部 熊本県高等学校教育研究会美術、工芸部会	熊本県高等学校美術展の特別賞の一つとして「熊本市現代美術館賞」を選定	10月23日(審査) 10月29日(表彰式)
VOCA2024 現代美術の展望－新しい平面の作家たち	VOCA展実行委員会	40才以下の平面作品の制作を行う現代作家の推薦を行うもの ※公2アに再掲	11月1日
令和5年度熊本市高校生消費者啓発ポスターコンテスト	熊本市消費者センター	成人年齢引き下げに伴う、若者への消費者啓発の一環として行う、高校生を対象としたポスターコンテストの審査、講評及び表彰	11月17日(審査) 2月2日(表彰)
マナブ間部記念児童絵画作品展	宇城市不知火美術館	宇城市の小学1年生から6年生までのほぼ全児童と中学1年生から3年生までの生徒(一部)が、図工・美術の授業で書いた作品(約1,000点)の審査、講評	12月22日(審査) 2月3日(表彰)

(5)まちづくり協力

種別	連携先	内容	開催日	参加者
上之裏通りブランディング	市街地整備課	上之裏通りの商店会による、通りのブランディングミーティングに参加。商店会がおこなうワークショップの内容にアドバイスを実施。ワークショップは7月28日に開催された。	6月21日(助言) 7月28日(WS)	5人
2023上通e-sportsフェスティバルin上通	上通商栄会	e-sportsチームや高校生のe-sports部などを招き街なかでの体験やトークイベントを行った。※再掲	9月2日、3日	—
まちづくりセンター	まちづくりセンター職員研修	「ご用聞き」の一環として、市民に近い場所で活動する職員の研修を4回に分けて実施。日比野館長を講師として、ご用聞き、工作、ワークショップ、模写、木彫などをおこない、楽しみながら、同じことをしてもそれぞれに違い、正解がないことなどを学んだ。	9月6日 9月28日 11月6日 11月24日	44人
合計				49人

4 文化芸術活動を地域づくりや都市の活性化に繋げるための講演会等

(1)ワークショップ、シンポジウム、講演会等

タイトル	連携先	内容	開催日	参加者
熊本市文化顧問委嘱状交付	熊本市文化政策課	熊本市文化顧問の委嘱状交付式。美術館のアートラボマーケットで、行政内のアートに限らない様々な課の職員が見守る中、市長と日比野館長が、文化で行政をどう変えていきたいかを語り、行政職員との意見交換も行った。 *大西一史(市長)、日比野克彦(館長)、岩崎千夏(副館長)、市職員18名	4月23日	20人
エクサンプロヴァンス市長×熊本市長×日比野館長鼎談「子育てしたくなるまちづくり」	熊本市国際課	熊本市-エクサンプロヴァンス市交流都市締結10周年記念事業として来館したソフィ・ジョワサン市長以下、訪問団を美術館に招待し、子育てひろばのある美術館で語り合う鼎談を行った。	5月30日	80人
逢坂恵理子×日比野克彦「これからの美術館」	国立新美術館	逢坂恵理子館長(国立新美術館)と日比野克彦館長(熊本市現代美術館)による「これからの美術館」についての対談。 *逢坂恵理子(国立新美術館長)、日比野克彦(館長)	10月7日	36人
「まちづくり×教育ーごちゃまぜで教育をかたー」スペシャル鼎談「これからの教育を考える」	教育を盛り上げる会	熊本で活動する教育者やまちづくりをする方々のプレゼンを聞き、これからの教育を考える会。 *田中尚人(熊本大学准教授)、遠藤洋路(熊本市教育長)、岩崎千夏(副館長)	12月2日	70人
市長とドンドン語ろう！～こども・子育て版～	熊本市こども政策課	市長が市民と直接対話する機会をつくる「市長とドンドン語ろう！～こども・子育て版～」を、アートラボマーケットで開催。保育士が子どもを預かる場を準備するなど、子育て中の皆さんも来やすい工夫をして、やわらかいアートコミュニケーションの場を提供。 *大西一史(市長)、参加者	1月19日	20人
KMW(熊本エデュケーションウィーク)子ども・地域・教育フォーラム「公開ご用聞き-中緑小学校」	熊本市地域教育推進課	3年後に廃校になることが決まっている熊本市立中緑小学校とその周辺を視察して、その場所を今後どのように活用していくのか、校長先生のご用を聞く、公開ご用聞きを開催。 *牧野篤(東京大学教授)、大畑伸幸(元益田市教育委員会)、田中尚人(熊本大学准教授)、林田匡(中緑小学校長)、岩崎千夏(副館長)	1月27日	20人

(1)ワークショップ、シンポジウム、講演会等(つづき)

タイトル	連携先	内容	開催日	参加者
KMW(熊本エデュケーションウィーク)子ども・地域・教育フォーラム「CAMKで考える-地域教育のしあさって」	熊本市地域教育推進課	3年後に廃校になる小学校と改修が決まっている公民館のそれぞれを視察したパネラーが、地域教育について語り合うシンポジウム。 *西山佳孝(株式会社タウンキッチン代表)、山城千秋(熊本大学教授)、南信之介(繁多川公民館長)、矢ヶ井那津(北九州市立大学特任教員)、池田哲也(幸田公民館長)、牧野篤(東京大学教授)、大畑伸幸(元益田市教育委員会)、田中尚人(熊本大学准教授)、林田匡(中緑小学校長)、岩崎千夏(副館長)	1月27日	60人
熊本大学キャンパスミュージアム後援会	熊本大学キャンパスミュージアム	東京藝術大学の学長でもある日比野克彦館長が、アートのを地域や人の豊かな暮らしに活かすために、東京や各都市で行っている事例や、熊本で独自に行っている熊本市との活動などについて紹介。 *日比野克彦(館長)	2月10日	200人
ちくごアートリレーション2023 福岡県文化芸術講座-アートって私たちの生活や社会に必要?「事例紹介 熊本市現代美術館の『ご用聞き』とは?」	ちくごアートファーム実行委員会	社会と文化芸術、文化行政について1年を通して考える講座(全4回)の最終回として、熊本市のご用聞きについて紹介しながら、アートの役割について考える。 *日比野克彦(館長)、岩崎千夏(副館長)、熊本市文化政策課職員(2名)	2月11日	15人
社会的処方アートプログラム「アート x 美術館 x 認知症」振り返り会	一般社団法人アーツアライブ	2023年度に、一般社団法人アーツアライブによる「アートリップ」(認知症当事者とその介助者を対象とする作品鑑賞)と講演会を実施した館による報告会。実施後の感想、館内の変化、地域とのネットワーク構築について、良かった点、工夫点、改善点などを共有。 *一般社団法人アーツアライブ、小樽芸術村似鳥美術館、三重県立美術館、川崎市岡本太郎美術館、栃木市立美術館、秋田県立近代美術館、佐倉市立美術館、豊橋市美術博物館、倉吉博物館、熊本市現代美術館	3月30日	20人
合計				541人

【その他】

種別	対象	内容	開催日	参加者
熊本市文化顧問	熊本市文化政策課	日比野克彦熊本市現代美術館館長に、熊本市の文化顧問を委嘱	4月1日-3月31日	-
担当課との検討会議	熊本市改革プロジェクト推進課文化政策課	熊本市の外郭団体(当財団)の経営についての意見交換	4月20日、6月22日、8月18日、8月30日、12月6日	熊本市の外郭団体のあり方について議論
所管課との勉強会	熊本市文化政策課	熊本市現代美術館指定管理料等に関する所管課との打合せ	8月31日	岩崎千夏・岡田直幸ほか
文化庁調査	文化庁 日本博物館協会 丹青研究所	文化庁 令和5年度「博物館機能強化推進事業(経営基盤強化に向けた組織改革の促進に関する実証事業)」 「公立博物館への寄付受け入れに係る構造的課題」の解決に貢献していると考えられる先進事例に関する聞き取り調査	2月16日 (聞き取り調査) 3月10日 (事例紹介)	熊本市文化政策課 岩崎千夏

(1)理事会、評議員会

種別	内容	開催日
理事会	熊本市現代美術館の運営方針等の協議・確認	5月31日、10月10日、3月14日
	理事長・常務理事の選任	6月30日
	評議員会の開催	9月25日
評議員会	熊本市現代美術館の運営方針等の協議・確認	6月23日、10月10日、3月15日

(2)助成金・補助金・支援金等

助成・補助・支援元	名称	対象	金額
一般財団法人地域創造	創造プログラム(企画制作力向上特別分)	未来のための記憶庫	4,100,000円
日本芸術文化振興会	他分野共同等芸術創造活動	動画クリエイター展	2,000,000円
公益財団法人 小笠原敏晶記念財団	第3次新型コロナウイルス特別助成(現代美術分野)	現代美術館と藝術大学による新しいアート・エコシステム「御用聞き」からはじまるアートマインドの連鎖 ※2か年予定	4,061,208円
合計			10,161,208円

(3)職員採用

概要	採用数／応募数
職員採用試験はなし	-